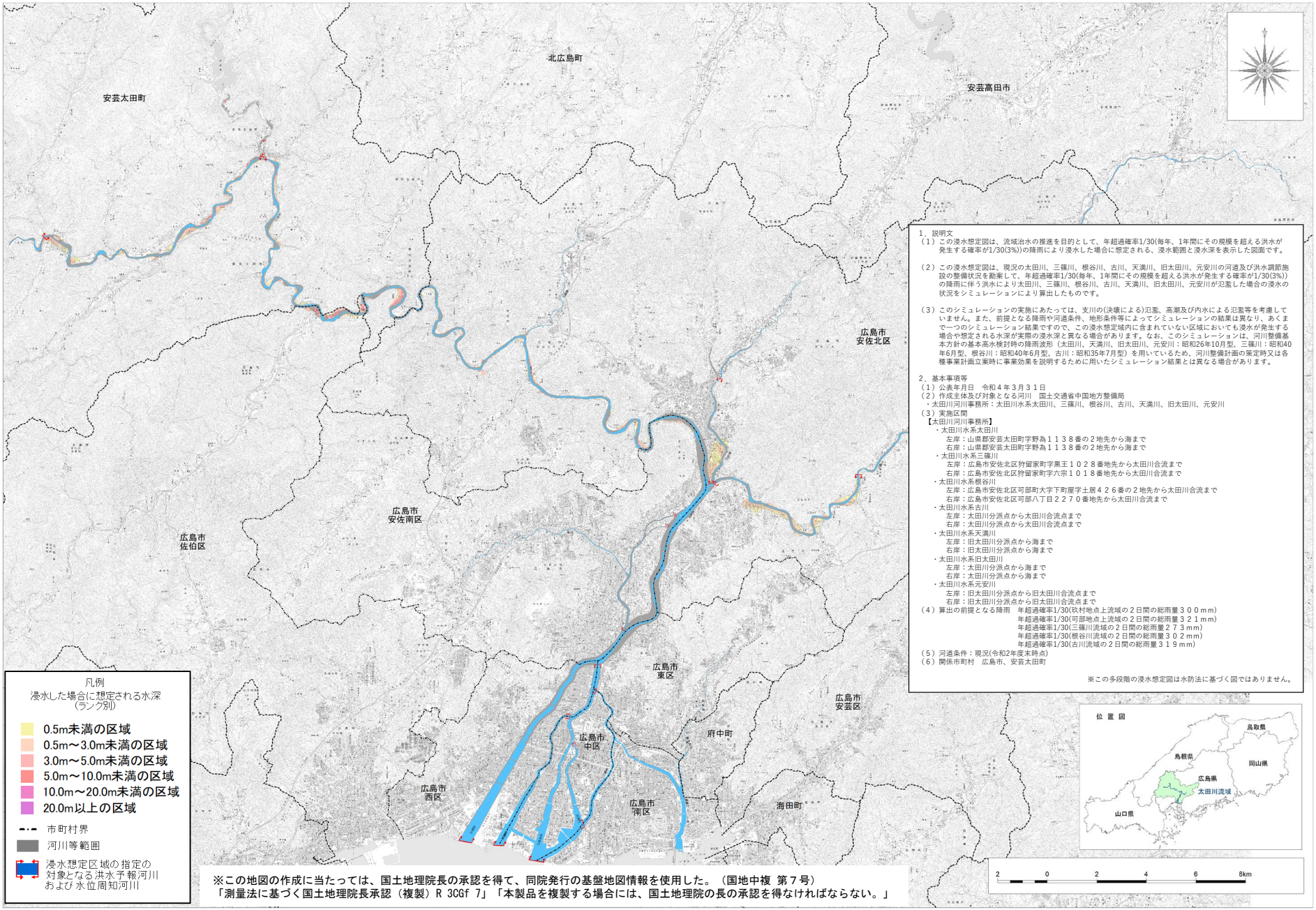
太田川水系　大臣管理区間の浸水想定図（1／30規模降雨）
【現況河道】



1．説明文

（1）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（2）この浸水想定図は、現況の太田川、三篠川、根谷川、古川、天満川、旧太田川、元安川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨に伴う洪水により太田川、三篠川、根谷川、古川、天満川、旧太田川、元安川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（太田川、天満川、旧太田川、元安川：昭和26年10月型、三篠川：昭和40年6月型、根谷川：昭和40年6月型、古川：昭和35年7月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2．基本事項等

（1）公表年月日　令和４年３月３１日

（2）作成主体及び対象となる河川　国土交通省中国地方整備局
・太田川河川事務所：太田川水系太田川、三篠川、根谷川、古川、天満川、旧太田川、元安川

（3）実施区間

【太田川河川事務所】

・太田川水系太田川
　左岸：山県郡安芸太田町字野為１１３８番の２地先から海まで
　右岸：山県郡安芸太田町字野為１１３８番の２地先から海まで
・太田川水系三篠川
　左岸：広島市安佐北区狩留家町字黒王１０２８番地先から太田川合流まで
　右岸：広島市安佐北区狩留家町字六宗１０１８番地先から太田川合流まで
・太田川水系根谷川
　左岸：広島市安佐北区可部町大字下町屋字土居４２６番の２地先から太田川合流まで
　右岸：広島市安佐北区可部八丁目２２７０番地先から太田川合流まで
・太田川水系古川
　左岸：太田川分派点から太田川合流点まで
　右岸：太田川分派点から太田川合流点まで
・太田川水系天満川
　左岸：旧太田川分派点から海まで
　右岸：旧太田川分派点から海まで
・太田川水系旧太田川
　左岸：太田川分派点から海まで
　右岸：太田川分派点から海まで
・太田川水系元安川
　左岸：旧太田川分派点から旧太田川合流点まで
　右岸：旧太田川分派点から旧太田川合流点まで

（4）算出の前提となる降雨　年超過確率1/30(玖村地点上流域の２日間の総雨量３００ｍｍ)
　年超過確率1/30(可部地点上流域の２日間の総雨量３２１ｍｍ)
　年超過確率1/30(三篠川流域の２日間の総雨量２７３ｍｍ)
　年超過確率1/30(根谷川流域の２日間の総雨量３０２ｍｍ)
　年超過確率1/30(古川流域の２日間の総雨量３１９ｍｍ)

（5）河道条件：現況(令和2年度末時点)

（6）関係市町村　広島市、安芸太田町

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（国地中複 第７号）
「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 3CGf 7」「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」